

■鍋山貞親 日本共産党の指導者。無期懲役の判決後、佐野学と転向声明を発表して衝撃与え、戦後は反共理論家。

なべやまさだちか

田中正造直訴1901＝ 大阪府東成郡捻江村(大阪市東成区)で生まれる。

日露戦争終・1905＝ 4歳：

韓国併合・・1910＝ 9歳：

明治天皇没・1912＝11歳：

父の死により尋常小学校卒業後、労働者となる。

民本主義・・1916＝15歳：旋盤見習工となり、_友愛会支部に加入、荒畑寒村に協力、

べつじ条約・1919＝18歳：

大暴落・・・1920＝19歳：*{LL会(労働と自由)}を結成、高山義三除隊歓迎会で警官と衝突<京都赤旗事件>、検挙された。以後、本格的に労働運動に参加、戦闘的青年労働者の野武士組に属したが、間もなくサンディカリズムから脱却、

原敬首相暗殺1921＝20歳：

水平社結成・1922＝21歳：*日本共産党結成に参加した。

関東大震災・1923＝22歳： 大阪電気労働組合を結成、以後総同盟内の左派に属す。

護憲三派圧勝1924＝23歳： 森井歌子と結婚、

治安維持法・1925＝24歳： 総同盟分裂の際、日本労働組合評議会結成に参加、教育出版社長に就任、荒畑のすすめで共産党再建のためのコミニスト=グループに参加。

円本時代始・1926＝25歳： 浜松日本楽器の争議には三田村四郎とともに最高幹部となる。共産党再建の第三回大会に参加。

金融恐慌・・1927＝26歳： モスクワに赴き"二七年デーゼ"作成に参加後、組合理長となる。

共産党事件・1928＝27歳： <三・一五事件>の弾圧を免れ、上海の汎太平洋労働組合会議に出席、{マルクス主義}誌上に様々な筆名で時評を精力的に執筆するなどして、党再建に努めたが、

世界恐慌・・1929＝28歳： *<四・一六事件>に関連し、逮捕され、

満州事変・・1931＝30歳： 公判闘争では獄中中央委員の一人として組織問題を陳述、

五一五事件・1932＝31歳： 無期懲役の判決を受けると、

国際連盟脱退1933＝32歳： *佐野学とともにコミンテルンの世界革命論、天皇制打倒論に反対して転向声明「共同被告同志に告ぐる書」を発表、妻歌子だけでなく全被告を震撼させ、転向現象の嚆矢となった。

帝人疑獄事件1934＝33歳： 控訴審で懲役15年の判決を受けて下獄、

日中戦争始・1937＝36歳：

大政翼賛会・1940＝39歳： 紀元二千六百年の恩赦で減刑され、

日米開戦・・1941＝40歳：

創価学会検挙1943＝42歳： 出獄、

年金+総武装 1944＝43歳： 日本航空機に入社、中国に視察旅行に赴き、

敗戦・・・1945＝44歳： 夫妻で中国に転居したが、敗戦で、

新憲法公布・1946＝45歳： _帰国、{世界民主研究所}を設立、以後反共運動を展開する。

独立回復・・1951＝50歳：

55年体制始・1955＝54歳：

安保闘争・・1960＝59歳：

タイタイ病始・1961＝60歳： アメリカ国務省の招待で訪米、AFL・CIOを訪問し、

東京リボルヴ 1964＝63歳：

全共闘レーク・1969＝68歳： 日韓協力委員会に参加するなど、

_一貫して共産党のイデオロギー批判を展開し、

石油ショック1973＝72歳：

革新大敗北・1979＝78歳： _食道癌で没した。